

第259回東三河サイエンスカフェ 2021年1月21日(木) 午後6時30分～8時00分 豊橋駅前サテライトオフィス



オンライン

東三河サイエンスカフェ 検索

<http://www.ita.cs.tut.ac.jp/~kawai/cs/>

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

Y型マトリクス (Y-type Matrix) — 情報A-Z「Y」の巻 —

マトリクスは、もともと「生み出すもの」「母体」「基盤」を意味する言葉です。ここでは、数学の「行列」の意味で用いています。マトリクス(=行列、表、テーブル、…)は、データの処理、分析に用いられる図法のひとつです。表計算ソフト Excel のシートのような、縦・横2軸の表が一般的です。しかし、分析しようとする内容によって、さまざまな形のマトリクスが用いられます。Y型は、3軸のマトリクスで、3つの情報が関係する問題を分析するのに用いられます。

今宵は、Y型マトリクスについてサイエンスしてみましよう。

- ★ゲストスピーカー：
河合 和久 先生
豊橋技術科学大学
情報・知能工学系
- ★先生のご専門：
コンピュータ・サイエンス
- ★先生からの一言：
Y型マトリクスのほかに、L型、T型、X型などがあります。これらは、品質管理(Quality Control)で用いられる図法の名前です。QCは、商品・サービスの質の向上のための企業活動です。品質向上のために分析を行なう情報によって、マトリクスを使い分けます。

★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。定員20名。定員に達し次第しめきります。事前に参加申込をしてください。

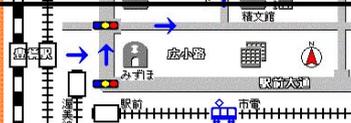
★申込：参加希望の方は、「第259回参加希望」と明記し「氏名」「年齢」「連絡先(電話番号またはメールアドレス)」をお書きの上、下記のメールアドレスあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局
メール：cs@ita.cs.tut.ac.jp
申込×切：1月20日(水) 正午

★ご連絡いただいた個人情報は、申込受付等の連絡業務にのみ使用します。



オンライン



★会場(豊橋技術科学大学豊橋駅前サテライトオフィス)：豊橋駅から、広小路どおり、ときわアーケードを通り抜けた先の左側にあります。駅から徒歩5分。